

令和8年度 鳥取大学入学者選抜試験問題

(前期日程)

小論文

(地域学部 地域学科 地域創造コース)

(注意)

1. 問題冊子は、指示があるまで開かないこと。
2. 問題冊子は4ページ、解答用紙は2枚、下書用紙は2枚である。
指示があってから確認し、乱丁、落丁、印刷不鮮明の箇所等がある場合は、ただちに試験監督者に申し出ること。
3. 解答は解答用紙（横書き）に記入すること。
4. 下書、メモ等を試みる場合は、下書用紙又は問題冊子の余白を利用してよい。
5. **解答用紙を持ち帰ってはならない**が、問題冊子及び下書用紙は必ず持ち帰ること。

【問題】

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

この部分については、著作権の都合上、HP
で公開しておりません。

この部分については、著作権の都合上、HP
で公開しておりません。

この部分については、著作権の都合上、HP
で公開しておりません。

(出題者注)

※1 出題者中略部分で、「地域アート」とほぼ同義のものとして、熊倉純子監修、菊地拓児・長津結一郎編『アートプロジェクト 芸術と共創する社会』(水曜社、2014)における「アートプロジェクト」を挙げ、同書における「アートプロジェクト」の説明を引用しており、ここではこれを言い換えている。

※2 プレモダン：前近代。近代化が進む以前の時代やその時代の様式のこと。

※3 エンジェル・オブ・ザ・ノース：イギリス・イングランド北部の丘の上に設置された、翼を広げた天使をモチーフとした鋼鉄製の巨大な彫刻作品(全高 20m・両翼の幅 54m)。

出典：藤田直哉編著『地域アート 美学／制度／日本』堀之内出版、2016、pp.17-24

出題にあたり、引用文中の一部を省略し(「(出題者中略)」の箇所)、上記の注を付すとともに、常用漢字外の漢字にルビを振った。

また、縦書きの原文を横書きにし、漢数字をアラビア数字に置き換えている。

【問1】

「現代アートと地域活性化」の現状を筆者がどのようにとらえ、それに対してどのような問題提起をしているかに着目し、この文章の要点を300字以内で述べなさい。

【問2】

地域資源を用いた地域活性化の例を、問題文で扱われている「地域アート」に限らず具体的に一つ挙げ、そこで期待されている効果と生じ得る問題点について、筆者の問題提起を踏まえて700字以内で論じなさい。